

「大崎市図書館等複合施設基本構想（案）」に対するご意見

1. パブリックコメントの実施について

(1) 実施期間 平成 23 年 2 月 1 日（火）～2 月 21 日（月）

(2) 実施結果 意見提出者 10 名 件数 61

項目またはページ数	番号	ご意見の内容	回答内容
知識と情報の拠点に ふさわしい図書館 P11	1	図書館機能の充実とあります。目指す水準は日本国内平均値のレベルだと思いますが、旧古川市民、周辺住民の読者意識としては、西に人口対比蔵書冊数日本第3位を誇る中新田図書館(当時)、東に読書サービス・学校図書館サポートに定評のある小牛田図書館、この2館の活動をしのぐ図書館像を期待してしまうところです。新生大崎市図書館の目指す水準を明確にお示してください。	「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」により奉仕人口を約14万人とすると蔵書数が約60万冊となります。新図書館(40万冊)と各基幹公民館図書室(20万冊)で需要を満たす蔵書数の確保と考えております。基本的には、公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準を満たす水準と考えております。
市民に役立ち、ともに歩む図書館 P11	2	利用者を主役とした奉仕活動とありますが、具体的にどのようなことを行っていくのかお示してください。	P12～16 資料・情報の提供サービス機能及び P12 市民ニーズの対応の記載内容になりますが、貸出手続きの効率化、インターネットを活用した資料の予約受付や受取先の指定など、利用者の立場に立った図書館サービスを行います。また、市民ニーズの把握に努め、市民一人ひとりに対してきめ細かな図書館サービスを行います。
まちづくりを支える図書館 P11	3	図書館サービスを提供するための中枢機能としての役割を担い、市内外の図書館等とのネットワークを構築します。と有りますが、中枢のネットワークにおける権限と、市内外の図書館等とおっしゃる範囲、ネットワークの役割、をお示してください。旧古川市民をはじめとした読書家は以前前述の東西両図書館を利用していた方が多く、合併前後に利用を制限された方々が、現大崎市図書館の状況に対し期待感を持ちつつ絶望しておりました。それらの方々が満足するサービスを提供できる高度な知識と専門性を持った図書館職員の育成を要望いたします。また、その人材を最大限に活用した全市民対象の図書館サービス体制の構築を要望いたします。	P16 図書館ネットワークサービス提供機能の記載内容になりますが、市内図書館サービス網の中枢機能として市内全体の窓口となり、国立国会図書館や県内公立図書館ネットワーク等との協力体制をより強化し、市民が求める資料・情報をできる限り提供していくための環境づくりを行います。  また、後段については、ご提言として受け止めさせていただきます。

項目またはページ数	番号	ご意見の内容	回答内容
新図書館の基本方針 P11	4	公民館が団体の生涯学習の拠点であるに対して、図書館は個人の生涯学習の拠点である。	ご提言として受け止めさせていただきます。
資料・情報の収集・保存機能 P12	5	新図書館は知識と情報の拠点として、医療・健康、福祉、子育て、法務、ビジネス、レクリエーション等の・・・に「科学、文化、産業・技術、国際関係」を加えることが必要ではないでしょうか。今後これらの図書が益々必要になってくると思います。	ご提言のとおり修正いたします。
レファレンスサービス P13	6	必要になるのは「リクエストサービス」であります。今迄は、申し出がなければ リクエストサービス はされなかったかも知れませんが、話しの中から リクエストサービスを教え豊富な資料の中から選ばせる事が大切かと考えます。	ご提言として受け止めさせていただきます。
	7	P13の②後半の高度な知識と専門性を持った図書館職員の育成を図ります。という点について、現行の図書館職員の人事異動の状況においては大崎市の職員全員が司書資格をもちレファレンス能力を持った状況でなくてはなりません。また基幹公民館図書室の職員の方々もさらに学校図書館の図書館補助員まで含めた上での組織作りを早急に行うことを提案いたします。	
乳幼児・児童絵のサービス P13	8	親子で来て楽しめるような、土日時間限定で構わないので紙芝居や絵本の読み聞かせ等のサービスがほしい。	現在の大崎市図書館では、毎月第2・3土曜日に「おはなし会」としてボランティア等による絵本や紙芝居等の読み聞かせを行っております。 新図書館においても、本の読み聞かせや親子で一緒に過ごせるスペースを設けるなど、本を通じて家族が触れ合える場の提供を考えております。
	9	貸し出しカウンターを一般貸し出しと別にする。 絵本、本のアドバイザーを充実する事。 常時閲覧場に司書がいて、個々に(子供達)に話しかけながらアドバイスしてほしい。 絵本作家の公演。	ご提言として受け止めさせていただきます。

項目またはページ数	番号	ご意見の内容	回答内容
乳幼児・児童サービス P13	10	職員やボランティア等の読み聞かせ、とありますが現在のボランティアの登録状況はどの程度集まっているのでしょうか？また、今後において市民読み聞かせボランティアの育成計画についてお示ください。「総合学習、調べ学習等による小中学校との連携」についてですが、現時点において市内小中学校すべてにフルタイム勤務の図書館補助員、学級担任を持たない司書教諭が不在の中、どのように連携をお考えなのかお示ください。	現在の大崎市図書館では、月2回ボランティア等による絵本や紙芝居等の読み聞かせを行っております。 大崎市図書館基本計画あるいは、大崎市図書館振興基本計画等の策定など大崎市全体の図書館の計画が必要と考えております。 子ども読書にかかわるボランティア団体等の把握や育成支援、市内小中学校との連携を含めた図書館のあり方等について検討してまいります。
ヤングアダルトへのサービスP13	11	個人学習機の充実	ご提言として受け止めさせていただきます。
高齢者へのサービス P14	12	どこでも座って本が読める様に、ところどころにイスを置いてほしい。 通路を広く車椅子が通りやすい様スペースをとってほしい。	
障がいのある方へのサービス P14	13	アウトリーチサービスとしての宅配サービスの検討とありますが場合によっては以前廃止した移動図書館よりも運営コストがかかることのように思えます。検討以前の提案段階でのプランをお示ください。	提案段階では、心身障害者用冊子小包、聴覚障害者用小包郵便等による郵便料金の減免対象者に対する宅配サービスの提供などを考えておりました。
地域資料・行政資料サービス P14	14	地域資料の収集が取り上げられていますが、資料は集めただけでは利用できません。図書館の資料として活用できるよう組織する(整理する)ことが必要です。一般の資料のデータは市販のものが利用できますが、地域資料については図書館職員が目録データを作成しなければならないので、経験ある職員が必要だと思います。(専門職員の必要性はうたわれていますが、さらに強調して) 用語ですが、以前は図書館の資料の目録を作成し、分類し、請求記号を与える仕事を「整理」といっていましたが、現在は「資料組織」といわれるようになりました。	「整理」の用語につきましては、「市民が利用できるよ・・・整理」と分かりやすい言葉で記載しております。原案のとおりとします。
	15	小中学校の総合学習、調べ学習の中で地域の資料が必要となる事が多いので大崎、古川、資料の充実。 大崎地方の昔話のかたりべを定期的に。	ご提言として受け止めさせていただきます。

項目またはページ数	番号	ご意見の内容	回答内容
視聴覚資料サービス P15 生涯学習支援機能 P15	16	<p>図書館内に放送大学の視聴学習室設置を希望します。</p> <p>放送大学は、放送授業(テレビ科目とラジオ科目)で学ぶ誰でもどこでも学習できる高等教育機関。2001年には大学院も設置されました。</p> <p>学習センターは全国の都道府県に置かれ、宮城学習センターは、東北大学片平キャンパス内にあります。放送授業の視聴、面接授業、単位確定試験、客員教授の学習相談、サークル活動も盛んに行われています。仙台から遠い地域の市民(学生)の利便性を図るため、気仙沼視聴学習室(気仙沼市図書館 2階)、角田視聴学習室(角田市図書館内)、石巻視聴学習室(石巻市情報プラザメディアシップ 2階)の3か所があります。</p> <p>視聴学習室設置をきっかけに、気仙沼市、角田市、石巻市では、面接授業や市民を対象に客員教授による公開講演会も行われ、好評です。</p> <p>学生としてどのような人がいるかという</p> <p>①いろいろな事情で通学は困難であるが、大学教育や大学院教育を受けたい人。</p> <p>②日ごろの関心を伸ばし、より高度な知識や教養を身につけた人。</p> <p>③資格取得に必要な科目を履修して、キャリアアップにつなげたい人。</p> <p>～など目的もさまざま。全科履修生・選科履修生・科目履修生などの履修方法があり、学生の年齢や職業も多様です。</p> <p>新しい図書館の立地は駅に近く、駐車スペースも十分取れそうなので、市民のみならず近隣の方々も利用しやすい場所となることでしょう。学びたいという潜在的な要求は多いのではないかと思います。ぜひ、放送大学視聴学習室の設置を検討してください。</p>	<p>全般に対する提言として受け止めさせていただきます。</p>

項目またはページ数	番号	ご意見の内容	回答内容
市内図書館サービスの中枢機能 P16	17	<p>(6)中ほどの地域の図書館サービスを支える公民館図書室と連携・協力することにより市内全域に図書館サービスを提供していきます。という文言に対し、現在 H24 年度以降地区公民館を随時民間委託する計画があるとお聞きいたしました。</p> <p>これが終了後各基幹公民館も予定しているという話もあります。その後開館予定の図書館構想において公民館ネットワークを生かした市民への図書館サービスと周辺地区サービスについてお示してください。</p> <p>その後記述の「大崎市子ども読書活動推進計画」についてですが、計画の期間は概ね平成20年度から5年間とされていますが、開館時も継続されている計画なのでしょうか？</p>	<p>大崎市図書館基本計画あるいは、大崎市図書館振興基本計画等の策定など大崎市全体の図書館の計画が必要と考えております。公民館図書室等の分館化を含めた図書館のあり方等について検討してまいります。</p> <p>「大崎市子ども読書活動推進計画」については、継続、現状等への修正を含め、さらに5年間程度の計画を策定していく考えです。</p>
歴史・文化・郷土資料展示スペース P16	18	<p>「本市の歴史や文化を伝える貴重な資料を展示する機能を設け」とあります。P11, P12, P14 でも大崎市固有の社会的、歴史的、文化的価値が高い資料・情報の収集・整理・保存の強化についての記載が見られます。</p> <p>それらの事情を踏まえまして、歴史資料等の展示スペースは図書館内部のワンスペース、ワンコーナーという小さな扱いではなく、小規模でも「歴史資料館」としてある程度独立した機能を有する施設の設置を要望いたします。</p> <p>その資料館主催の独自の講座・ミニ授業等を開催し、それらを市内小中学校との連携の中で進めていく事も、地域の歴史・伝統・文化等への理解の深まりや地域の歴史を学ぶ事への知的探究心の涵養を啓発する意味でも有益ではないかと思えます。</p>	<p>ご提言として受け止めさせていただきます。</p>

項目またはページ数	番号	ご意見の内容	回答内容
新図書館が目指すべき目標 P17.18	19	<p>長期の個人貸出目標を達成した時、40万冊の蔵書にするとすべての蔵書を3回転以上することになり、蔵書不足ではないでしょうか。また、学校図書館等への貸し出しもしていくことになると、その分の貸し出しも増加することになり、資料不足になる可能性が高いのではないのでしょうか。せめて、50万冊収蔵できるようにしておいたほうが良いと考えます。</p> <p>収蔵スペースの不足は開館から20年を超えた図書館の共通の悩みになっています。その場合、開架スペースを広げると管理・サービスのための人員を増やさなければならぬので、書庫をできるだけ広くとることが現実的かと思います。</p>	<p>基本構想の目標を設定する項目として、蔵書冊数については「新図書館の目標値」を設定し、その他の項目は「大崎市図書館等(公民館図書室)の目標値」として設定しています。個人貸出目標につきましては、公民館図書室と新図書館を併せた目標となります。</p> <p>新図書館の収蔵能力を40万冊規模とし、開架冊数20万冊、閉架冊数20万冊を目安として考えております。</p> <p>今後の参考とさせていただきます。</p>
	20	<p>この設置された数値を達成するためには、全蔵書冊数の1冊につき1年間に3回転しなければならない。開架に限ると、27年度には4回転、32年度には5回転、37年度には6回転、全資料が利用されなければならない。小説等の話題性のある資料や、ベストセラーは利用されると考えられるが、貸出が少ないレファレンス資料を含めると、この目標数値は難しいものではないだろうか。</p>	
	21	<p>蔵書能力40万冊はどこから出たのでしょうか。大崎は一つ出入り人口20万都市を目指してはどうなったのか？既に中新田図書館は24万冊を超えていると聞きます。近隣の図書館と同じではだめだと考えます。</p>	<p>「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」により奉仕人口を約14万人とすると蔵書数が約60万冊となります。</p> <p>新図書館(40万冊)と公民館図書室(20万冊)で需要を満たす蔵書数の確保と考えております。</p>

項目またはページ数	番号	ご意見の内容	回答内容
新図書館が目指すべき目標 P17.18	22	貸し出し登録者数を開館時15%、長期では40%を目標にしていますが、現在1%未満の登録から新館建設だけで達成することは困難だと思います。市域が狭く人口が密集している場合には、新しさと利用しやすさで登録が増えると思いますが、大崎市の場合旧古川市プラスαで見込むしかないのではないのでしょうか。目標を低くするのではなく、どうすれば旧古川市以外の市民を取り込めるかを考えなくてはなりません。公民館図書室を足がかりとした構想がみられますが、そのところをもっと深くしなければならぬと考えます。まずは、図書館の分館としての位置づけが必要ではないでしょうか。公民館図書室と図書館の分館では機能が違ってきますし、施設が貧弱でも大きな仕事をさせようとするならば、人(司書)を配置することが重要です。そうすれば(図書館の仕事・機能をしっかり理解し、本館の利用に繋げられる専門職を配置すれば)、その地域の市民の利用登録と資料収集がしっかりできていくのではと思います。	大崎市図書館の貸出登録者数は、平成21年度末で11,674人、貸出登録者率は8.6%となっております。貸出登録者数を開館時15%にする目標は、現在の図書館の約1.7倍となります。 また、貸出登録者率と貸出登録者数につきましては、公民館図書室と新図書館を合わせた目標となります。 公民館図書室の分館化及び機能・運営につきましては、今後の参考とさせていただきます。
施設整備 P19	23	建物は、自然エネルギー(太陽光発電等)を取り入れてください。	建物の長寿命化や省資源・省エネルギー対策、自然エネルギー活用の検討など、地球にやさしい建物とするよう配慮します。 また、施設の維持管理がしやすく、ランニングコストをできる限り低く抑えられる施設とするとともに、省エネルギー型の設備・機器の導入に積極的に取り組みます。
	24	建物の周りは、緑(広葉樹)のある環境にしてください。	
建築にあたっての配慮事項 P19	25	出入口、トイレなどの車いすや目の不自由な方への配慮のある設備、杖などの利用への滑りにくい設備などの配慮をおねがい致します。	バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した施設整備を行います。
駐車場の確保 P20	26	中新田図書館のように広い駐車場があると、隣町からも人を呼べるはずなので、広い駐車場を確保してほしい。	新図書館については、障がい者用の駐車場も含めた十分な広さの駐車場や駐輪場の確保に努めます。
	27	新図書館には、自転車置き場も含め、自家用車の駐車場が十分確保されることが何より待たれます。	

項目またはページ数	番号	ご意見の内容	回答内容
運営・管理 市民ニーズの対応 P21	28	運営・管理(2)市民ニーズの対応で、レファレンスやリクエストからだけニーズを把握しようとする、声を上げられる人のニーズに偏る危険があります。日頃のカウンターでの活動から声なき声を組み取ることが大切です。そのためにも、レファレンス受付だけでなく、貸返カウンターに司書を配置してください。	今後の参考とさせていただきます。
運営・管理 P21	29	(4)の専門職員の確保・育成のところの最後のほうに「司書等の専門職員」とありますが、「等」とはどのような専門職を指しているのでしょうか。	司書等＝司書、司書補、学芸員が含まれます。
全般について	30	魅力ある図書館であり、比較できる図書館があるかどうかによって利用度が変わってくるものと思います。 見ようとする図書数が自分の蔵書より少ない様な図書館は魅力がありません。慶応義塾大学の糸賀雅児先生が「図書館の役目は自分の蔵書にするか図書館で読んで終わりにするかを見分けるところである」と言われました。 この様に比較するためにはどのくらいの本が必要か？美里、中新田図書館では不可能と考えます。この様な機能を備えてから目標を考えるべきでないでしょうか。 大崎市の奉仕人口について、平成18年人口問題研究所から「人口の推移と推計」が出されてからいろいろのところで問題視されているがこれが図書館蔵書冊数に影響するのはどうでしょうか、図書館冊数基準は増えてきているのですから。	平成18年国立社会保障・人口問題研究の「人口の推移と推計」の使用については、「貸出登録者率・市民1人当たり貸出冊数」の目標値を算出するための数値として捉えています。 また、全般に対する提言として受け止めさせていただきます。
	31	インターネットからの予約機能などで、遠隔地の利用を進めるのには課題が多いです。なぜか遠隔地(農村部)からの資料検索のアクセスや予約は少ないのです。よく図書館を利用する市街地の市民がインターネットも活用する傾向があります。図書館の利用がどれほど有益なものかをPRする(紙やホームページ上ではだめです)ことが大切です。	インターネットを活用した資料の予約受付や受取先の指定につきましては、利用者に合わせた図書館サービスのひとつと考えております。 また、PR等につきましては、今後の参考とさせていただきます。



項目またはページ数	番号	ご意見の内容	回答内容
全般について	32	<p>全体的には蔵書を多く、職員、レファレンスが出来る人材を出来るだけ多く配置してほしい。</p> <p>木々や花、草など緑がいっぱいある。ちょっと本を読みながらお茶を飲めるスペースなどと最高です。</p>	全般に対する提言として受け止めさせていただきます。
	33	<p>幼児教育、子育て支援の上でも、親子でお友達と一緒にお座りして絵本等を楽しめるような部屋、カーペットなどを敷いて、周りに絵本の陳列があり、親子の荷物を入れられるロッカーの設備のある「お部屋」は必要です。</p>	
	34	<p>学校帰りの小学生が本を楽しんだり、宿題をしたりして、「放課後をすごせる部屋」は、必要です。</p>	
	35	<p>中高生の勉強交流の場は、進学や受験のための準備にも役立ちます。古川工業高校、古川学園、大崎中央高校も近く、電車、バスなどの通学生にも利用可能な立地条件です。</p>	
	36	<p>一般の方の閲覧コーナーは、新聞や月刊、週刊誌などを読んでおられる中高年の方たちもたくさん見受けられますので、広いコーナーをお願い致します。</p>	
	37	<p>どんな用途でも利用できる会議室2～3あると、社会教育上の市民サービスが充実するかと思います。</p> <p>古文書を学ぶ会、郷土史研究、司書による月1回の新書の紹介、お勧め本などの紹介などの催し、作家などの講演会など、小中学校の社会教育の会場としても、市外の来客の方々への対応など利用は、計りきれません。</p>	
	38	<p>開館時間は、出来れば8:30～19:00仕事帰りの方々にも余裕をもって利用できる時間帯の構成をお願い致します。</p>	
	39	<p>喫茶コーナーは、加美町中新田の図書館にあるような自販機、コーヒーなどのカップで出てくる機械設置のあるホット一息コーナーが別室で必要です。</p>	

項目またはページ数	番号	ご意見の内容	回答内容
全般について	40	<p>大崎市規模の市がこれらのサービスを行っていくためには、公民館図書室との連携・協力だけにとどまらず、HUB 的な役割を持つ分館の設置が必要ではないだろうか。</p> <p>施設の整備とともに、他の項目でもあげられているサービスを提供していく専門職の配置を望みます。</p>	全般に対する提言として受け止めさせていただきます。
	41	<p>図書館等複合施設基本構想(案)の必要な機能とサービスが満たされた図書館が出来たなら本当に素晴らしい事だと思います。</p> <p>図書館本来の機能はもとより市民のニーズに合ったサービスを気軽に利活用出来る事がとても大切な事だと考えています。</p> <p>障がいのある方々にも安心して利用できる施設はゆとりとやさしさが生まれます。複合施設の多目的ホールや研修室等のほかに、和室の部屋などがあれば高齢者や赤ちゃんなどを連れた若い方々にも広く利用できると思います。また、入館された方々がお話ししながらゆっくりとお茶を飲む事の出来るティーサロンの様なコーナーがあれば、心がなごむひと時が生まれるのではないかと思います。</p> <p>図書館は外観も大切だと思いますがこれから近くおこるであろう地震のような災害に備えてしっかりとした構造の建物を考えてほしいと思います。</p> <p>多くの市民の意見を参考にして時間をかけて考えて頂き、市民の意見や要望が反映された利用しやすい図書館をと、心から望んでいます。</p>	
	42	<p>市民向けの本ばかりではなく、大崎市に大学を誘致できる程度の専門的な学術書等も他の図書館から借りることなく、自前で用意してほしい。</p>	
	43	<p>学生や家族が数人で来て、少し話しをしながら勉強したり、レポートの作成ができるような個室がたくさんほしい。</p> <p>一人ではなかなか来ない人も、友達となら来るかもしれない。しかし、友達と来るとお話しをするためのスペースが図書館には通常ないので困ることがある。それを解消するためには多少話したりしても回りに迷惑をかけないように個室の用意が望ましい。</p>	

項目またはページ数	番号	ご意見の内容	回答内容
全般について	43	<p>学生や家族が数人で来て、少し話しをしながら勉強したり、レポートの作成ができるような個室がたくさんほしい。</p> <p>一人ではなかなか来ない人も、友達となら来るかもしれない。しかし、友達と来るとお話しをするためのスペースが図書館には通常ないので困ることがある。それを解消するためには多少話したりしても回りに迷惑をかけないように個室の用意が望ましい。</p>	<p>全般に対する提言として受け止めさせていただきます。</p>
	44	<p>図書館までの公共交通機関を整備してほしい。(土日だけでも、郊外や、駅からのシャトルバス等出してほしい。)</p>	
	45	<p>大崎市図書館は、加美町中新田図書館や美里町図書館と同じであってはいけなと考えます。暇だから図書館から本を借りて読もうかとの考え方は、公民館の図書室と変わらないので、合併協議会で大崎市に図書館は必要ないと言われた委員さんと同じだと思います。パートナーシップ会議で、大崎市の図書館はどうななければならないのか特色は何所にあるのか、を討議されたことと考えますが基本構想では解りません。周辺の図書館は予算の縮小と大崎(旧古川市)市民の貸し出しが多いことから、町民以外は貸し出しをしなくなりましたが、ようやく胸をはって周辺の人に借りに来て下さい、見に来て下さいと言えるようになりました。</p> <p>大崎は一つ、中心の図書館として誇れる図書館でなければなりません。図書館ネットワークも進み国会図書館、宮城県立図書館、また、東北大学も一般貸し出しを行っているとのことで、東北大学図書館本館だけでも250万冊、宮城県立図書館では収納能力を超えてしまったと聞くと、リクエストサービスがこれから特に必要になってくると考えます。一度建てれば明日立て替えることは出来ません、特に図書収蔵能力は増加できる設計でなければなりません。</p>	

項目またはページ数	番号	ご意見の内容	回答内容
全般について	46	この基本構想では大崎市全体の図書館サービスを良好にするところが弱いと思います。建築設計段階で、分館とのネットワークを進めるためのスペース(作業および書架)を組み込んでほしいと思います。	全般に対する提言として受け止めさせていただきます。
	47	子ども読書推進計画とのからみで、学校との連携・協力がありますが、これも本気で取り組むとかなりの仕事量になりますし、そのためのスペースと資料が必要になると思います。	
	48	職業(農林業, 工業, 商業等)人へのサービス 職業の専門的技術, 知識を習得する人へのサービスは特に大切と考えます。	
	49	図書館計画としては大崎は一つ出入り人口 20 万都市を目指して、公立図書館の設置及び運営に関する基準にしたがった 66 万~100 万冊をまず充実させるべきでしょう。	
	50	図書館ネットワークの中で大崎の図書館は借りるだけでよいのでしょうか? ネットワークの中で大崎の図書館に行けばこの部門の本はあるという特色が必要と考えます。	
	51	大崎の主たる産業は農業であることから農業関係の図書を特色としてはどうでしょうか, その内容は, 高度の専門書は大学に任せるとして, 一般的な専門書を考える。農業および園芸, 畜産の研究程度としてこれに関連する専門書をすべて集める。	
	52	開架 20~30 万冊 閉架 100 万冊 収蔵能力 130 万冊 閉架能力がないので購入分だけ廃棄することのないよう閉架は充分用意しておくことが必要であり, 収蔵能力を超えた場合は建て増しできるよう配慮すべきであると考えます。	
53	生涯学習支援機能として, 多目的ホールがあげられていますが, ホールより 10 人から 20 人程度が集まって学習したりする部屋を多数用意した方が良いのではないのでしょうか。特に図書館資料を利用しながらのやや専門的な研究活動の場(グループ学習室)が欲しいと思います。そのようにして, いろいろな人が集まるようになると, ボランティア活動・まちづくり活動につながっていくように思います。		

項目またはページ数	番号	ご意見の内容	回答内容
全般について	54	旧町の方々には既存の図書館からスムーズに利用出来るレファレンスサービスを行って欲しいです。	全般に対する提言として受け止めさせていただきます。
	55	パートナーシップ会議のメンバーの中に、図書館を利用している方々は何人くらい居るのでしょうか。 他の施設の見学等を行っていると思いますが、市民メンバーをもう少し増やし、より多くの意見を組み入れてはどうでしょうか。	
	56	ハイブリット図書館につきましては、スペース等将来を想定し、充実した内容の方向で考えてください。	
	57	多目的ホールにつきましては、どのような利用目的を考えているのでしょうか。 ホールは、研究室に限定して欲しいです。なぜなら、他の目的で来館するとなれば本来、図書館を利用しに来館した方々が、例えば駐車が出来なくなる可能性もあります。 また、図書館の環境も悪くなるのではないかと、気になる場所です	
	58	建物について・・・開館後、すること、出来ることを明確にしてそれに合わせた建物にし、外観デザインにはこだわらずシンプルな造りにすべきと思います。そのほうが古くならず末永く利用される施設になると考えるからです。	
全般について	59	<p>新市図書館への書店の出店・・・現在旧古川エリア中心市街地には書店がありません。昨年春駅東のブックガーデン古川店閉店以降、このエリアの読者はかなり不便を強いられているというお話を良く聞きます。</p> <p>さらに図書館内に書店があるということは、選書や読者リクエスト対応、書店独自の読者サービスの提供も可能になり、今後目指すハイブリッド図書館の大きな武器になると思われます。運営形態や入居条件などは検討が必要だと思いますが、新しい複合施設としての公共図書館の形として提案します。</p>	

項目またはページ数	番号	ご意見の内容	回答内容
	60	<p>現在の公民館図書室の人員配置が各館ごと旧町の時代の体制のままなので、今後の図書館・公民館図書室ネットワーク構想に対応できるよう組織を変更し、公民館図書室職員も図書館直轄職員となるのが望ましいと思います。</p> <p>一部の公民館図書室はカウンター業務を行う人員が週2日出勤でほぼ無人の状態で開催されており、利用数も伸び悩んでいます。さらに蔵書の盗難等の心配もあるかと思っています。</p>	<p>全般に対する提言として受け止めさせていただきます。</p>
	61	<p>学校図書館に対してのサポート体制については現状の小中学校の図書館補助員の方がすべての学校でフルタイム勤務ではないので、学校側の窓口としては司書教諭が対応することになると思いますが、現状の司書教諭配置の例を見ると学級担任やその他業務で多忙を極め、ネットワークの対応は今のところ難しいでしょう。できれば市内小中学校すべてに週5日勤務(勤務時間は学校ごとの状況によって流動的に対応)の図書館補助員の配置をお願いしたいです。おそらくフリーで動ける司書教諭よりもコストパフォーマンスに優れており、人員の調整もそのつど調整できると思います。</p> <p>ネットワーク構築時には図書館補助員を学校の窓口とし、公共図書館には小学校・中学校それぞれに各2名程度司書教諭の資格を持った方が常勤し、各学校の図書館への提案やサポートを行えば学校図書館は今まで以上に活性化すると思います。</p> <p>現在の学校図書館補助員の方々は、特にこれといった研修を受けるわけでもなく、各学校に配置されているとお聞きしました。学校図書館という閉鎖空間で一人職場での勤務では、意識やスキルの向上に偏りがあると思われます。年数回研修やマニュアル作成、訪問指導を行うようにして、一人前の図書館員として育成していくことが必要だと思います。</p>	